

涌泉寺だより

「若し之を供養し讃歎することあらん者は、当に今世に於て現の果報を得べし」

(妙法蓮華経普賢菩薩勸発品第二十八)

普段のご信仰のなかで、どのようにご利益を感じていただいているでしょうか。ご利益信仰と聞かれますと、怪しい新興宗教を思い浮かべる方もいらっしゃるかと思います。何事もそうだと思うのですが、成果が出た方が楽しいと思います。折角ですので是非、日々の信仰活動で成果を感じ取っていただくようなことがあればうれしく思います。

どのような成果が期待できるかは、求めることでそれぞれですし、また自分自身の求めるものが実は自身の宿命とは違っていることもあり、思いがけない方向に向かうことも考えられるかもしれません。

皆様当然お分かりのように、佛様の教えは「少欲知足」です。急に莫大な富が得られることはありません。それを期

待させるのが怪しい宗教で、私自身は成果として、日々の安穩と自身の生きるべき道を指し示していただけることではないかと今は感じています。

日本人は、形から入ることが良いと考えているところが多くあります。形から入ること、より身に付くことでもあります。なぜか信仰においては形から入ることによって形骸化が著しいようにも思います。ご利益信仰など目に見えないことをタブー視するせいでしょうか。ご葬儀や法要においても形も大切に更に佛様、ご先祖様を感じるように心がけていたできたければありがたいです。

信仰の目的は「諸佛・諸天善神との感応である」と考えています。見えない力を感じ出来るようになることと思います。皆様にもなぜか決して楽で楽しいわけではないが、良い方向に行くような経験がありませんか。信仰の成果が得られるのは「南無妙法蓮華経」のお題目、お経の力そしてお掃除です。お経、お題目をお唱えし、お仏壇、お墓をきれいに掃除をすることで佛様ご先祖様がお力を貸して下さるのでないかと感じます。基本的なことでは皆様の「ご理解の」ことですが、「再度基本を大切にしてください」

平成29年も皆様により良い信仰の成果で安穩な生活が続くことを願っております。



お知らせ

先代住職十七回忌法要

本年は、第四十四世修清院日性上人第十七回忌でした。ご命日は12月18日ですが、11月20日に立本寺貫主様や松ヶ崎法縁のお上人、総代堂講様、地元お檀家の皆様、更には親族の出席の下、十七回忌の法要をお勤め致しました。当日は華光寺住職浅野耀泰上人に導師、妙堯寺住職浅野泰徳上人に副導師をお願いし、お上人10名お檀家の皆様40名の参加でした。

この日で私は丁度住職10年目の日でした。先代住職は今の涌泉寺をどのように感じておられるかなと思います、お経をお唱えさせていただきました。10年を一つの区切りとして、今までをしっかりと振り返り、今後の更なる発展に努めて参ります。

七面宮地鎮祭

10月16日に地鎮祭を細見工務所様、長治林業様、総代堂講様にご出席いただき行いました。建物を建てるときには特に地鎮祭を大切にしています。7月の安全祈願以降本殿の解体が行われ、この地鎮祭後、日輪月輪ノ瀧、本殿基礎石組み工事、また周辺樹木伐採を行っていきました。お火焚きの際には石組み工事、樹木伐採が終了したところをご覧いただけ

と思います。12月23日から本殿の工事が始まっています。

本堂の雨漏り

本堂屋根の北東部分の降り棟が原因で雨漏りしていましたが、5月に降り棟を取る工事を行っています。その工事の際、本堂北側の垂木が3本程折れていることが判明しました。現状そこから雨漏りはありませんが今後このままでは必ず雨漏りをしますので、来年度文化財保護課の補助を得て修理することを予定しています。原因は前回の北側瓦の葺き替えの際、土を載せ過ぎたためではないかと言われています。瓦の葺き方もやはり民家と本堂では違うようで、寺社建築専門業者の方が良いのかもしれません。



平成30年は涌泉寺創立百周年

再来年5月14日は妙泉寺と本涌寺が合併して百周年になります。涌泉寺の更なる発展を願って記念行事が出来ればありがたいと思っています。現在、総代堂講さんと内容については検討しており未定ですが、決定の際には是非百周年のお祝いとしてご参加、ご協力の程お願いいたします。